

令和7年度 第1回 大阪市立淀中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立淀中学校

校園長名 吉田 健太

| | | | | |
|------|--|--|---|--|
| 日 時 | 令和7年5月22日 19:00~20:00 | | | |
| 場 所 | 大阪市立淀中学校 校長室 | | | |
| 出席者 | 委員など | 高橋 和行（会長） 吉野 千絵子（委員） 白石 正憲（委員） 古谷 史恵（委員） 峰原 利範（委員） | | |
| | 校園 | 吉田 健太（校長） 吉中 いづみ（教頭） | | |
| | 区役所 | 小川課長代理 | | |
| 議題 | 1. 令和7年度「運営に関する計画」の説明 2. 新年度が始まっての学校の様子 3. 学校運営についての意見交換 | | | |
| 協議要旨 | 議題 | 協議の結果 | 意見の概要 | |
| | 議題 | <ul style="list-style-type: none"> まずは学校長より運営に関する計画の前提となるさまざまのことについて説明があり、委員の方に資料を確認していただいた。運営に関する計画のご意見を求めるとともに、内容に対する理解を得た。 安全・安心な教育の推進について、本校のいじめに対する取り組みについて質問があり、それについて理解を得た。 | <ul style="list-style-type: none"> 道徳心の育成はあるが、道徳は学校ではなく家庭で教えるものではないのか →全国的に道徳教育を推し進めているので、学校でもしっかりと教えていかなければならない。 ただ、やはり家庭での教育も重要であると考えている。 いじめのない環境づくりについて、どのような取り組みをしているのか →いじめについて考える日及びいのちについて考える日があり、全校生徒に対して講話をして、子どもたちが考える時間を作っている。 いじめの定義についても何度も繰り返し説明し、学校は厳正に対処すると伝えている。 いじめアンケートも適宜行っている。いじめ案件が発生すれば即座に対応している。 いじめの件は子どもが教師に伝えることはできているのか。 →陰湿ないじめや、第三者委員会を立ち上げるような事案は昨年度はなかつたが、いつ起こってもおかしくないという意識を持ち、いつでも対応できるように準備している。 | |

| | | |
|------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 新年度が始まり、子どもたちの様子が落ち着いてきたとのことだが、現在はどのような課題があるのか。 学校運営について意見交換をし、今年度も地域・家庭・学校が連携して協力していくという意見でまとまった。 | <ul style="list-style-type: none"> 特に中学校の女の子は最近化粧に目覚めている子が多いと聞くがそうなのか。 →学校の規則としては、化粧は認めていないが、最近では化粧をしなければ学校に来ることができないと訴える家庭もあり、保護者の理解を得ることも難しい状態である。 中学生は集団でいると気が大きくなるようで、少しのアプローチで子どもは何かが変わるとと思うので、家庭での教育を困難に感じている親もいて難しい年ごろだとは思うけれど、うまく引っ張って行ってあげてほしい。 先生との対話・会話が大切だと思う。先生自身も言葉遣いを気をつけて、子どもに合わせた接し方を考えてやってほしい。 中学校から体育の先生が来てくれて子どもたちに寄り添い関わってくれているのでとても助かっている。小中連携のメリットはこういうところにあると思う。小学生にもいい影響を与えている。 部活動が減ると聞いていたが、結局どうなったのか。 →今回の人事異動によって、教員が強化され、部活動の減少には至らなかった。 地域のスポーツチームもそうだが、打ち込むことのできるものがあれば、あまりいらないこともしないと思うので、学校の部活動も頑張ってほしい。 →地域移行の時代ではあるが、淀中の多くの教員は部活動で引っ張っていかなければという意識を強く持っているので、部活動は安泰です。 |
| 協議資料 | <ul style="list-style-type: none"> 5月22日 第1回 学校協議会 資料 令和7年度 運営に関する計画 | |
| 備考 | | |